

令和8年度（2026年度） 鎌倉療育医療センター小さき花の園における看護師の負担軽減計画

2026年4月 看護部

目標	看護師一人一人が重心看護の能力向上を実現でき、目指す看護が提供できる労働環境の整備を目指す			
項目	現状・取り組みの根拠	対応方針	具体的な計画	評価
最新の知見に基づいた業務整理・業務改善を行う	常に最新の知見を得、根拠に基づく業務改善を行うことで、働きやすい環境を整える。	○看護部委員会の委員を中心に、研修受講を推進し、受講により得た最新の知見を看護部活動に生かす ○ICTについての情報を収集し、導入を積極的に検討する	○計画的な研修受講計画 ○インカムの導入による夜間勤務の安全確保と負担軽減	
看護職員の確保・定着を推進し、安定した勤務体制を目指す	人材確保の課題から日々の業務だけに追われ、自己のキャリアを思い描けないことも多い。重心看護に誇りを持ち、キャリアを積める環境整備により定着支援を行う必要がある。	○自己のキャリアを思い描ける教育体制の整備により看護師の定着につなげる。 ○重心看護の魅力伝え、人材確保につなげる。	○合同主任会にて職員支援体制の共有 ○看護師長会にて人員確保方法の検討 ○教育委員会を中心に自己のキャリアが思い描ける教育計画の検討（教育企画会議の開催） ○ポートフォリオ（JIBUNキャリアファイル）の活用	
一人一人がヘルシーワークプレイス（健康で安全な職場）作りに参画する	中途入職者の経験が共有されることで、より良い看護の提供や働きやすい環境整備につながる可能性がある。	○心理的安全性の担保により、ボトムアップを推進する。 ○倫理カンファレンス等を推進し、チームで看護の質を向上させることを目指す。	○カンファレンスを推進する。 ○職員の意見を集約し委員会活動に反映させる。	
多職種との相互理解を促進し、効果的なタスクシェアを実現する	複合疾患を有するなど、利用者が多様化・複雑化している中、看護師でなければ行えないことも増加している。専門的な知識を有する多職種との協働により、利用者の生活の質の充実を図る。	○協働によるチーム医療・療育の必要性を多職種と共有し、利用者の安全・安心と、生活の担保のため効果的なタスクシェアを推進する。	○看護・療育、合同主任会の開催 ○目的を再確認しながらの業務整理・改善 ○多様な勤務形態の看護助手の採用	